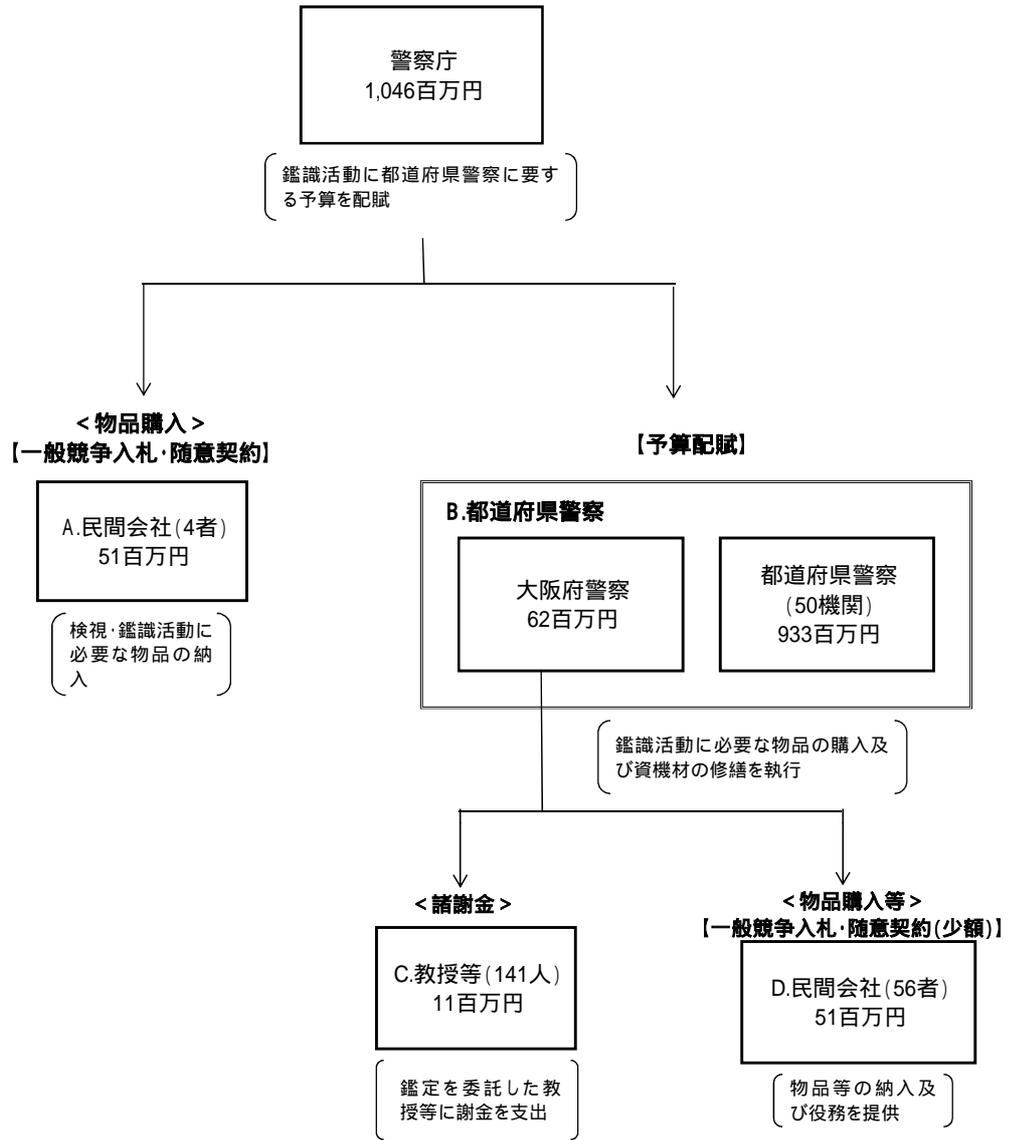


平成23年行政事業レビューシート ( 警察庁 )

<b>事業名</b>	鑑識に必要な物品購入等		<b>担当部局</b>	刑事局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	-		<b>担当課室</b>	犯罪鑑識官		<b>犯罪鑑識官</b>	森本 和明	
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	複数施策(1~7)				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	警察法第37条第1項第4号 警察法施行令第2条第4号		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	警察活動を支える科学捜査を一定水準確保するため、鑑定・鑑識業務に必要な科学捜査力等を強化する。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	捜査を取り巻く環境の悪化、裁判員制度の導入等により、従来にも増して客観的証拠の収集が必要とされる中で、複雑・多様化した犯罪情勢に対処していくためには、鑑定資機材を有効活用し、犯罪現場に残された微細・微量な資料を迅速・的確に採取・鑑定して得た客観的証拠を捜査に反映させることが重要である。このため、鑑識・鑑定業務に支障を来すことがないよう、科学捜査力を強化する。							
<b>実施方法</b>	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	0	95	0	2,132		
		繰越し等	0	47	47	0		
		計	1,125	1,111	1,073	3,067	1,603	
	執行額	1,097	915	1,046				
	執行率(%)	98%	82%	97%				
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	20年	21年	22年	目標値(年)
	(成果目標) 的確な鑑識・鑑定業務の実施による科学捜査の推進 (参考指標) 重要犯罪の検挙件数			件	9,925	9,776	9,471	-
			達成度	%	-	-	-	
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	20年	21年	22年	23年活動見込
	被疑者指紋登録件数(再犯を除く。)			件	251,853	244,848	227,266	- ( - ) ( - )
<b>単位当たりコスト</b>	1,046,106千円/年		算出根拠	年間執行額				
<b>平成23・24年度予算内訳</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	14	14	犯罪鑑識活動に必要な各種資機材の減耗更新を行うため予算額が増になったもの。				
	物品購入等	921	1,589					
計	935	1,603						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>1 支出先・使途の把握水準・状況 資機材は、警察庁で一括購入しているため、支出先については把握している。また、都道府県警察に予算配賦している消耗品等については、都道府県警察から執行状況の報告を受けているため、支出先については把握している。</p> <p>2 見直しの余地 本経費については、対象事件の発生の多寡等によって所要額が左右されるものであるが、客観的証拠の収集のため引き続き実施する必要がある。 契約に際しては、一般競争入札を実施するとともに、今後も過去の調達実績の反映や、より競争性を高める仕様への見直しを図るなど、引き続き予算の適正な執行に努める。</p>	
		<p align="center"><b>予算監視・効率化チームの所見</b></p>	
一部改善		<p>1 支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。</p> <p>2 改善策の内容及び横断的見直しの状況に関する所見 鑑識に必要な物品購入等については、平成24年度予算において概算要求を行うに当たり、実績単価の反映、性能の見直し、調達数の見直し等を実施し、予算額の削減に努めること。</p> <p>3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。</p>	
		<p align="center"><b>上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</b></p>	
		<p>平成24年度概算要求に当たり、事業に必要となる物品購入費や各種鑑定資機材の修繕費について、実績単価、調達数等の反映を行い、要求額を削減した(削減額:54百万円)。</p>	
		<p align="center"><b>補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)</b></p>	
		<p>特になし</p>	



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.オガワ精機(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入費	小型遠心分離機	27			
計		27	計		
B.大阪府警察			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
予算配賦	鑑識活動に必要な物品購入等	62			
計		62	計		
C.教授等			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	鑑定に要する経費	11			
計			計		
D.(株)早川衡器			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入等	足カバーの購入等	8			
計		8	計		

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	オガワ精機(株)	小型遠心分離機の購入	27	3	
2	日本電気(株)	三次元顔画像識別システムの購入	20	2	
3	(株)科学装備研究所	指紋転写用シート等の購入	2	随意契約	
4	(有)賞栄堂写真機店	カラーフィルムの購入	2	随意契約	
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大阪府警察	予算配賦	62		
2	北海道警察	予算配賦	57		
3	千葉県警察	予算配賦	49		
4	神奈川県警察	予算配賦	46		
5	福岡県警察	予算配賦	46		
6	警視庁	予算配賦	44		
7	静岡県警察	予算配賦	41		
8	愛知県警察	予算配賦	34		
9	兵庫県警察	予算配賦	32		
10	大分県警察	予算配賦	31		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	教授等	部外鑑定委託	11		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)早川衡器	足カバーの購入等	8	5	
2	(株)ナニワ商会	カラーフィルムの購入等	7	1	
3	八洲薬品(株)	メタノールの購入等	5	3	
4	中倉産業(株)	指紋用転写紙の購入等	5	1	
5	(株)科学装備研究所	シリコンラバーの購入等	4	随意契約	
6	(株)木村製作所	エレマルの購入等	2	4	
7	(株)ジェイサイエンス関西	リンスシールの購入等	2	随意契約	
8	アクセスコンピュータシステム(株)	トナーカートリッジの購入等	1	5	
9	(株)中川商店	マスクの購入等	1	随意契約	
10	(株)島津製作所	ガスクロマトグラフ質量分析装置等の修理	1	随意契約	